リサイクル活動の取り組み



組合員からの回収量
(単位:kg)

	回収業態		2010	2010	2020	2021	2022
回収品目	店舗	宅配	2018	2019	2020	2021	2022
紙パック	0	0	308,615	312,584	339,780	331,890	321,580
飲料缶	0		247,695	245,792	260,348	244,983	239,712
発泡トレイ	0		157,306	160,046	165,876	155,401	163,551
ペットボトル	0		521,262	509,453	507,425	505,171	531,078
ペットボトルキャップ	0		31,674	33,128	35,770	36,739	41,641
透明トレイ・卵パック	0		128,316	143,501	175,029	188,984	194,952
卵パック		0	43,316	48,748	48,875	48,095	42,668
商品カタログ「め一む」		0	7,942,317	7,976,606	8,207,127	7,961,583	7,826,593
商品配達用ポリ袋・帳票袋		0	120,441	142,963	144,439	145,949	138,690

使用済小型家電回収BOXの設置状況

コープこうべでは、行政の回収のしくみや要請に応じて、回収ボックスを設置しています。

2023年4月時点

	20234				
	行政区	回収開始	店舗名		
1	神戸市	2014年 4月	コープリビング甲南		
2		2012年11月	コープ西明石		
3		2017年10月	コープ大蔵谷		
4	明石市	2019年 9月	コープ朝霧		
5		2019年 9月	コープ大久保		
6		2019年 9月	コープ魚住		
7		2015年11月	コープ武庫川		
8		2015年11月	コープ北口食彩館		
9	西宮市	2015年11月	コープ西宮東		
10	변동[1]	2017年 4月	コープ甲陽園		
11		2017年 4月	コープ西宮南		
12		2017年 4月	コープマリナパーク		
13	高砂市	2016年10月	コープ高砂		

※小型家電リサイクル法

使用済み小型家電に含まれる鉄やアルミ、レアメタルなどの貴重な資源の再資源化を目的とした「小型家電リサイクル法」に基づき、各自治体では使用済み小型家電の回収を進めています。 回収した使用済み小型家電は、国の認定事業者によって回収され、資源として生まれ変わります。

羽毛布団・ダウンジャケット回収店舗【28店舗】

2023年4月時点

	回収開始日	店舗名	全 2023年4月時点		
1	2018年10月1日		神戸市北区日の峰2丁目7		
2	2 3 4 5 5 7 2019年5月1日 3 9	シーア	神戸市東灘区住吉本町1丁目2番1号		
 		´	神戸市西区池上3丁目3番1号		
4		コープデイズ相生	相生市旭3丁目7番6号		
 5		コープデイズ芦屋	芦屋市大原町9-1-304		
6		コープ西宮	西宮市池田町11番1号		
		コープ姫路田寺	- 短路市田寺3丁目3番11号		
-/ 8		コープ姫町田守			
			神戸市須磨区横尾1丁目5番地(リファーレ横尾)		
9		コープ大久保	明石市大久保町大窪字横山2545-8		
10		コープ西宮北	西宮市山口町下山口5丁目13番22号		
11		コープ北口食彩館	西宮市北口町1番2号136		
12		コープデイズ豊岡	豊岡市加広町7-32		
13		コープ深江	神戸市東灘区深江北町3-9-15		
14		コープ宝塚	宝塚市中州1-1-1(アピアきた内)		
15		コープ安倉	宝塚市安倉南4-38-1		
16		コープ園田	尼崎市東園田町4-104-1		
17		コープ三木緑が丘	三木市緑が丘町中1-7-1		
18		コープ志染	三木市志染町西自由が丘1-166		
19		コープ西明石	明石市西明石北町1-2-1		
20	2020年5月1日	コープ高砂	高砂市松陽1-10-43		
21	2 3 4 - 5	コープ龍野	たつの市龍野町島田10-1		
22		コープ兵庫	神戸市兵庫区駅南通5-1-2-100		
23		コープ西神	神戸市西区春日台3-3(かすがプラザ内)		
24		コープ仁川	宝塚市仁川北2-7-1(さらら仁川南館)		
25		コープ鈴蘭台東	神戸市北区鈴蘭台北町1-12-5		
26		コープ魚住	明石市魚住町錦が丘4-3-1 (魚住モール内)		
27		コープ東豊中	豊中市東豊中町4-3-13		
28		コープリビング甲南	神戸市東灘区甲南町2-1-20		

グリーンダウンプロジェクト

羽毛は水鳥から採取される有限な資源です。 需要の高まりに対し、羽毛資源は減少傾向です。 限りある資源を有効活用する取り組みとして、 羽毛布団・ダウンジャケットの回収・リサイク ルを開始しています。

回収した羽毛製品は、洗浄・精製加工され、再 生羽毛 (グリーンダウン) として、広く社会で有 効利用されます。

